ビジネスプランニング

Business Planning

担当教員	石井宏宗（専任）	**単位数**	2単位
開講学期	秋学期	**開講曜日・時限**	火曜日・土曜日 授業スケジュール参照
位置づけ	企業・事業戦略,MOTの概念的理解 事業創造 応用段階		
区分	事業創造コース コース基本科目		

科目紹介	
科目の重要性・必要性	本講義は、事業コンセプト・製品コンセプト・経営戦略・ビジネスモデル・事業計画のリバイバルを通して、「ビジネスプランニング」の要諦を学ぶことを目的としている。ビジネスプランではなく、ビジネスプランニングとしている所以は、既に実施されている企業のビジネスプランを、流転する中で、事業コンセプト・製品コンセプト・経営戦略・ビジネスモデル・事業計画のすべてを鑑みながら、リバイバルしていく「進行形的-ing」なイメージに起因する。また、座学で修得した基礎は、受講生諸氏の自社ビジネスプランニングに実践されることを想定している。
科目の目的	本講義は、厳しい経営環境におけるリバイバルを通じて、事業コンセプト・製品コンセプト・経営戦略・ビジネスモデル・事業計画等、一連のビジネスプランニングの本質を学ぶことが目的である。また、座学で修得した基礎は、受講生諸氏の自社ビジネスの創造に応用される。
到達目標	ビジネスプランニングにおける、一連の論理的展開および思考法を身に付け、基礎力となるフレームワークの修得と、実務への応用実践を到達目標とする。
受講してもらいたい院生	ビジネスプランニングに興味がある、もしくは、苦心している院生であって、当該講座の基礎理解と実務応用の修得、発展を目指したいと考える方に最適である。

授業計画

第1回	**予習・復習時間**	4時間
	予習・復習内容	予習：ビジネスプランニングについての疑問、学びたい点、身に着けたい能力、等を自分自身の経験を踏まえ、メモに作成して講義に臨むこと。 復習：講義を終えて気づいた事、疑問点、課題、等を事前課題に付加する。
	授業内容	「ビジネスプランニングの必然性A 」 講義全体の説明、講師のビジネスプランニングに係る実務経歴、成績付与条件等について概説する。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック
第2回	**予習・復習時間**	4時間
	予習・復習内容	予習：ビジネスプランニングについての疑問、学びたい点、身に着けたい能力、等を自分自身の経験を踏まえ、メモに作成して講義に臨むこと。 復習：講義を終えて気づいた事、疑問点、課題、等を事前課題に付加する。
	授業内容	「ビジネスプランニングの必然性B」 本講義を受講するにあたり、講師が経験したいくつかのリバイバル事例を取りあげ、リバイバルの要諦を説き、ディスカッションを行う。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック

第3回	**予習・復習時間**	4時間
	予習・復習内容	予習：自社もしくは主要取引先等のビジネスにおいて、中期経営戦略・計画がどのように行われているか、メモを作成し、講義に臨むこと。 復習：講義を終えて気づいた事、疑問点、課題、等を事前課題に付加する。
	授業内容	「リバイバル企業の経営戦略A」 本講義が対象とするサンプル企業は、スタートアップから3年を経過しており、累計の経常利益は大きくマイナスである。この有事の状況から、あらためてビジネスプランニングを考えることで、平時では見えない本質を見いだすことが重要である。今回は、サンプル企業の「起業時」の事業コンセプト・製品コンセプト・経営戦略・ビジネスモデル・事業計画等について説明する。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック
第4回	**予習・復習時間**	4時間
	予習・復習内容	予習：予習：自社もしくは主要取引先等のビジネスにおいて、中期経営戦略・計画の実績がどのように認識されているか、メモを作成し、講義に臨むこと。 復習：講義を終えて気づいた事、疑問点、課題、等を事前課題に付加する。
	授業内容	「リバイバル企業の経営戦略B」 前回は、サンプル企業の「起業時」の事業コンセプト・製品コンセプト・経営戦略・ビジネスモデル・事業計画等を概観した。今回は、サンプル企業の「3年後実績データ」について、事業コンセプト・製品コンセプト・経営戦略・ビジネスモデル・事業実績等を概説する。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック

第5回	**予習・復習時間**	4時間
	予習・復習内容	予習：自社もしくは主要取引先等のビジネスにおいて、中期経営戦略・計画の「差異分析・検証」がどのように行われているか、メモを作成し、講義に臨むこと。 復習：講義を終えて気づいた事、疑問点、課題、等を事前課題に付加する。
	授業内容	「リバイバル企業の分析A」 前回の講義では、サンプル企業の起業時の事業コンセプト・製品コンセプト・経営戦略・ビジネスモデル・事業計画等、また、3年が経過したそれらの実績について概観した。今回の講義では、経営分析の主要な技法である「事業性評価」について学ぶ。客観的な事業性評価を行うことで、これまでの事業コンセプト・製品コンセプト・経営戦略・ビジネスモデル・事業計画、その他事項における「課題点」を見いだすことが出来る。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック
第6回	**予習・復習時間**	4時間
	予習・復習内容	予習：自社もしくは主要取引先等のビジネスにおいて、中期経営戦略・計画の「差異分析・検証」をどのようなフレームワークをもちいて行われているか、メモを作成し、講義に臨むこと。 復習：講義を終えて気づいた事、疑問点、課題、等を事前課題に付加する。
	授業内容	「リバイバル企業の分析B」 今回の講義では、ワークショップで対象企業の事業性評価を行い、チームごとに分析と検証の結果を発表する。その上で、サンプル企業の課題点について、解説を行う。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック

第7回	**予習・復習時間**	4時間
	予習・復習内容	予習：自社もしくは主要取引先等で、経営戦略の再検討がどのように行われているか、メモを作成し講義に臨むこと。 復習：講義を終えて気づいた事、疑問点、課題、等を事前課題に付加する。
	授業内容	「経営戦略A」 第５回と第６回の演習では、3年間の実績を鑑み、事業性評価から課題点を見いだした。今回の講義では、課題点を解消するために、現状の事業コンセプト・製品コンセプト・経営戦略・ビジネスモデル等の詳細について概略を行う。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック
第8回	**予習・復習時間**	4時間
	予習・復習内容	予習：自社もしくは主要取引先等の経営戦略構築時、クロスSWOTが活用されているか否か、メモを作成し講義に臨むこと。 復習：講義を終えて気づいた事、疑問点、課題、等を事前課題に付加する。
	授業内容	「経営戦略B」 事業性評価でみいだした課題点にもとづき、ワークショップにて、リバイバルに向けた事業コンセプト・製品コンセプト・経営戦略・ビジネスモデル等の見直しを行う.
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック

第9回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	予習：自社もしくは主要取引先等において、ビジネスプランの策定プロセスはどのようになされているか、メモを作成し講義に臨むこと 復習：講義を終えて気づいた事、疑問点、課題、等を事前課題に付加する。
	授業内容	「中期経営計画A」 リバイバルで見直した事業コンセプト・製品コンセプト・経営戦略・ビジネスモデルにもとづき、今後3年間におよぶ事業計画として、新たな中期経営計画を作成する必要がある。今回の講義では、中期経営計画に必要な事項の概説を行う。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック
第10回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	予習：自社もしくは主要取引先等のビジネスプラン策定において、どのようなフレームワーク（特に中期経営計画）がもちいられているか、メモを作成し講義に臨むこと。 復習：講義を終えて気づいた事、疑問点、課題、等を事前課題に付加する。
	授業内容	「中期経営計画B」 今後3年間におよぶ事業計画としての「新たな中期経営計画」をワークショップで作成する。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック

第11回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	予習：自社もしくは主要取引先等において、ビジネスモデルキャンバスを活用した事例があるか、メモを作成し講義に臨むこと。 復習：講義を終えて気づいた事、疑問点、課題、等を事前課題に付加する。
	授業内容	「ドラッカーのビジネスモデル」 リバイバルのプランニング最終段階にあたり、ここで一息、ドラッカーの経営思想をとおして「経営の本質」をみつめてみる。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック
第12回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	予習：自社もしくは主要取引先等における、リバイバルのビジネスプランニング事例のメモを作成し講義に臨むこと。 復習：講義を終えて気づいた事、疑問点、課題、等を事前課題に付加する。
	授業内容	「ゲスト講義」 リバイバルを経験したゲスト講師による講演を行う（予定）。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック

第13回	**予習・復習時間**	4時間
	予習・復習内容	予習：これまでの成果をまとめ、プレゼンテーション資料を作成し、講義に臨むこと。 復習：講義を終えて気づいた事、疑問点、課題、等を事前課題に付加する。
	授業内容	「プレゼンテーションA」 これまでの12回におよぶ講義全体を踏まえ、チームごとにリバイバル・プランニングとして、プレゼンテーションを行う。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック
第14回	**予習・復習時間**	4時間
	予習・復習内容	予習：これまでの成果をまとめ、プレゼンテーション資料を作成し、講義に臨むこと。 復習：講義を終えて気づいた事、疑問点、課題、等を事前課題に付加する。講義を終えて気づいた事、疑問点、課題、等を事前課題に付加する。
	授業内容	「プレゼンテーションB」 前回同様、これまで12回におよぶ講義全体を踏まえ、チームごとにリバイバル・プランニングとして、プレゼンテーションを行う。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック
第15回	**予習・復習時間**	4時間
	予習・復習内容	予習：期末試験に向けて準備を行う。
	授業内容	プレゼンテーションのレビューと、期末試験（記述式）を実施する。
	授業課題	無

授業情報	
授業方法	講義をとおして、質疑、グループディスカッションを行い、ビジネスモデルおよびビジネスプランについての理解を深化させる。
テキスト	毎回、講義資料を配布する。
参考図書	『ビジネス・ヒントの経営学』石井宏宗著（創成社） ISBN978-4-7944-2587-4　C3034 その他、講義時に紹介する。

評価方法		
評価の視点	**評価 ウェイト**	**備考**
講義内で毎回実施する「例題」を毎時終了時に提出	50%	
授業受講姿勢	40%	授業中での建設的質疑、グループワークでのリーダーシップの発揮、率先したグループワーク結果の発表等を考慮する。
期末試験成績	10%	
合計	100%	

受講生へ （授業科目のアピールポイント、必要な基礎となる科目の履修や知識・スキル）

本講義では、ビジネスプランニングの技法を、リバイバルという具体的事例から本質を習得する事ができるだろう。講義では、起業３年後に経営危機に陥ったA社（バーチャル）をリバイバルさせる座学とワークショップを組み合わせる。一連の座学とワークショップをとおして、ビジネスプランニングで得た知見を、実務にフィードバックし、受講者の経営能力を向上させる事が本講義の最終的な目的である。受講生のターゲットは、ビジネスプランニングに関する技法とマインドを必要とする院生である。本講義をとおして、参加者全員と共に、ビジネスプランニングの策定技法とその本質ついて深めていきたい。なお、講師は25年以上にわたり、8社の起業・事業創造・事業再生・事業撤退等を行ってきた経験を持つ中小企業経営者である。これらの点（特に失敗事例）も踏まえ、受講生へ貢献できる講義としたい。

その他
期末試験を実施する。オンラインでの試験対応も可能である。